

# ティーンズ通信

## 科学の世界

リケジョと理系男子、そして文系のあなたに

### キュートな数学・江戸の数学

『キュートな数学名作問題集』  
小島寛之／著 筑摩書房 Y 410

数学は好きですか？もし好きじゃないなら、それは今まで出会った問題がキュートじゃなかったから、かもしれない。

キュートな問題とステキな解法が詰まったこの本を読んだら…あなたもきっと数学が好きになる。

『算法少女』  
遠藤寛子／著 筑摩書房 Y913

あきは父から算法の手ほどきを受けていた。ある日、算額の誤りを指摘したことがきっかけで、藩主の姫君の算法指南役になるよう依頼される。しかし、その話には思わぬ邪魔が入って…

江戸時代、町人の娘が算法を学ぶのが珍しい中で、あきは、自分にあった道を探していく。

### ロボットと人間

『ロボットは東大に入れるか』  
新井紀子／著 イーストプレス Y 007

この本のタイトルは、人工知能による、東京大学の入試合格を目標とした国立情報学研究所のプロジェクト名でもあります。日々色んな分野で、人間のすることがロボットにできるようになっている昨今。ロボットと人間の違いは何かを考えてみよう。

『われはロボット』  
アイザック・アシモフ／著  
小尾英佐／訳 早川書房 Y933

1950年に出版された、人間とロボットの未来を描いたSF小説の名作。ロボットはロボット工学三原則により、人間に絶対的に従うはずだったが…

機械の発展による便利さと、それにともない、出てくる現代の様々な問題を、早くも予見していた作品。

### 生き物に恋して

『その道のプロに聞くふつうじゃない生きものの飼いかた』  
松橋利光／著 大和書房 Y 480

ペットを飼いたいけど犬や猫は無理だとあきらめている人、ちょっと待った！お歳暮でもらったイセエビ、スーパーで買ったウズラの卵をふ化させて飼うことだってできるんです！！その道のプロが、ふつうじゃなくてとっても素敵な生きものの飼いかた教えます。

『ときめく微生物図鑑』  
塩野正道・塩野暁子／写真  
鏡味麻衣子／監修 山と溪谷社 Y465

人類が微生物の存在に気がついたのは、わずか300年ほど前のこと。でも微生物は何十億年も前から地球上に存在し、地球と共に生きていた…

肉眼では見えない微生物の、美しく、どこか可愛らしい姿をたくさん写真で紹介します。

## 物理学者は文学がお好き

『科学と科学者のはなし  
寺田寅彦エッセイ集』  
寺田寅彦／著 池内了／編 岩波書店 K404

物理学者として名高い寺田寅彦は、文学にも優れた才能を発揮した。一杯の白湯、虫、満員電車の法則、そして夏目漱石との思い出など、科学者の視点で描くエッセイは、科学と文学が相反するものでないことを、私達に教えてくれる。

「知魚楽」 湯川秀樹／著  
『中学生までに読んでおきたい哲学8』  
松田哲夫／編 あすなろ書房 914.68 より

日本人初のノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹もまた、古典に親しみ、短歌を詠むという文学者としての一面があった。若い読者に向けて優れた随筆を集めたこの本には、素粒子と古代中国の思想家についての愉快なエッセイが収録されている。

## リケジョの生きる道

『ゼバスチアンからの電話』  
イリーナ・コルシユノフ／作  
石川素子・吉原高志／共訳 白水社 943.7

ザビーネは化学が大好きだった。でもボーイフレンドができて以来、彼・ゼバスチアンのことばかり考えるようになった。進学して化学を勉強するよりも、ゼバスチアンのために生きる、そう決めたのだが…。少女の恋と自立する姿を描く。

『ダーウィンと旅して』  
ジャクリーヌ・ケリー／作 斎藤倫子／訳  
ほるぷ出版 Y933

おじいちゃんと科学の研究をすることが何よりも楽しみのキャルパーニア。もっと女の子らしく育ててほしいと思う両親や、変わり者扱いをする周りとはぶつかりながらも、何事も自分で学び、成長していく。動物好き、植物好きはもちろん、進路に悩んでいる人にも読んでもらいたい1冊。「ダーウィンと出会った夏」の続編です

## 理系男子の青春

『理系アナ柵太一の生物部な毎日』  
柵太一／著 岩波書店 Y 289

アナウンサーの柵太一が、虫とアナゴとアサリにかけた青春を語る。デートよりも虫採りが大事だった“体育会系”生物部の中高時代、海洋生物に目覚めた大学時代、そしてアナウンサーになるまでを、調査研究の楽しさと生き物への愛をこめて綴った青春の記録。

## 科学ではたらく！

『5教科が仕事につながる!理科の時間』  
松井大助／著 ぺりかん社  
Y 366

『科学者になる方法』  
科学技術振興機構プレスルーム／編  
東京書籍 Y 366

『宇宙就職案内』  
林公代／著 筑摩書房 Y 366

**編集後記** 科学が持つ美しさや物語性に引きつけられました。学生時代に気づいていれば、筋金入りの文系の私だって、あんなに理系科目で苦しまずにすんだのかも…と悔やまれます。(担当O)

理系科目は苦手でした。しかし、社会人になってからある場面で、これは数学のこの単元を学んだからできる考え方だな、と思ったりすることもありました。そんな時、もっと真剣に学んでいればよかった…と後悔しますね。(担当I)